



Lecture series

<第5回>

京大発の宇宙学

～宇宙物理学から宇宙人類学まで～

平成27年 1月 8日(木) 15:00～16:15

京都大学附属図書館 1階
ラーニング・commons

(京都大学 学部生・院生対象)



Learning Commons

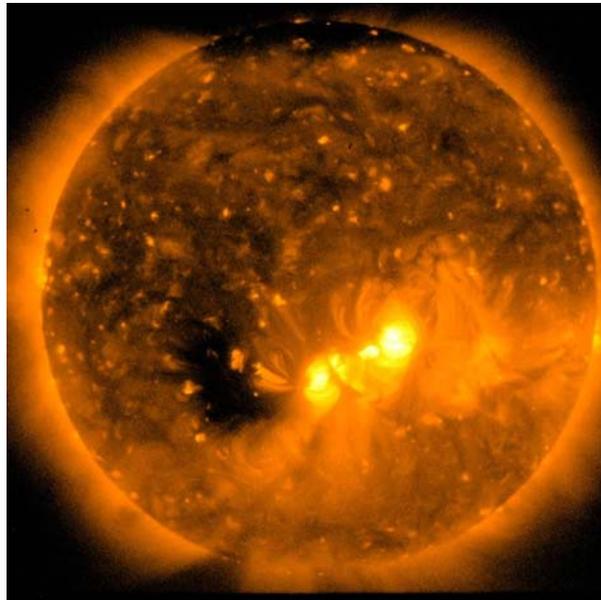


磯部 洋明 特定准教授
(学際融合教育研究推進センター
宇宙総合学研究ユニット)

問合せ先：京都大学附属図書館 参考調査掛
TEL:075-753-2636 / e-mail:ref@kulib.kyoto-u.ac.jp

今回のテーマ

宇宙を探ることは、私たちがどこから来て、これからどこへ行くのかという人類にとっての根源的な問いを探ることです。かつて神話の形でこの宇宙の成り立ちを説明を試みた人類は、やがて数学と物理学を使ってこの宇宙の有りようの理解を深めてきました。地球型惑星の発見が相次いでいる現在、地球外生命探査や太陽系における生命の起源、すなわち「宇宙生物学」が熱いトピックになりつつあります。そしてその先には、地球外の進出が人類に何をもたらすかという、宇宙人類学研究があるはずです。私たち人間にとって全く新しい活動の場である宇宙は、人間とその社会の本質に対する知的好奇心に駆動された人文社会系の学問にとっても興味深いフィールドとなるはずです。生命、人間、社会にまで広がる宇宙研究の最先端を紹介します。



ひので衛星が撮影した太陽のX線写真

磯部 洋明 特定准教授 自己紹介

1977年神奈川県生まれ、岡山県育ち。京都大学理学部卒業、同大学院理学研究科修了。博士(理学)。大学院時代から天文・宇宙物理学、特に太陽の爆発現象の研究に取り組んできました。ポスドクとして東京大学やケンブリッジ大学で研究を続けた後、2008年に宇宙に関する学際的、総合的な研究を開拓推進する「宇宙総合学研究ユニット」の専任教員として京大に戻ってきました。それ以来、専門の宇宙物理研究を続けながら、人文社会系からアプローチする宇宙研究の推進や、宇宙・科学とアートや宗教、伝統文化のコラボ企画をいろいろと手がけています。